

市政懇談会「市長と語ろう」

若い人の意見が次々と

二十歳代の若い社会人が萩原市長に直接提言 平成十四年度第二回市政懇談会「市長と語ろう」が二月五日、市役所で行われました。テーマは「社会人になって思う私のまち」。市内在勤の二十歳代十七人から、市政に対する意見や要望を聞きました。その一部を紹介します。

問い合わせは広報広聴課 890 6644へ。

生活環境の整備を



浅見 昌子さん
(信用金庫勤務)

わたしが住んでいる地域は高齢化が進み、商店街も衰退しています。卒業した小学校では、地域との交流があり、これに若い人も加われれば、子育てや介護の問題など、生活環境の整備をさらに充実してほしいです。

進出企業優遇など

前橋の活気を取り戻す方策を考えました。進出企業への優遇



猪熊 広哲さん
(電力会社勤務)

措置や、その地区だけで使える商品券を配布してみても、公園を清潔にしたり、駐車場を整備したりすることも必要です。

地域への愛が大切



岩木 賢一さん
(農業)

地域の協力は大切。消防や防犯などは分担することが必要で

環境対策を習慣化



懸川 正博さん
(製造会社勤務)

す。しかし、会社などに勤めている人には、なかなか引き受けてもらえません。もっと地域愛を大切にすべきです。わたしも協力を心掛けたと思います。

市のホームページで環境の計画を知りました。子ども向けの環境イベントもあり、良いことだと思えます。小さいころから環境教育をすれば、環境への取り組みを習慣化できるのでは。

県都らしい駅前



是安 章広さん
(旅行会社勤務)

前橋へ転勤して初めて駅を降りたとき、活気がないと思いました。県庁所在地で駅ビルがないのは珍しいです。駅は都市の顔、魅力あるまちづくりのため、駅前の整備が必要です。

車を利用しやすく

わたしの周囲の人は、まちに活気がないと言っています。それは、まちへ行きづらいからで



大貫 智子さん
(新聞記者)

懇談会の司会を担当



佐藤 貴三己さん
(製造会社勤務)

はないでしょうか。渋滞や駐車場不足を改善しないと、市街地への足が遠のいてしまいます。

